

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 3 月 21 日 (2008.3.21)

【公開番号】特開 2007-288776 (P2007-288776A)
 【公開日】平成 19 年 11 月 1 日 (2007.11.1)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-042
 【出願番号】特願 2007-79518 (P2007-79518)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/24 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 12/24

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

G 0 6 F 13/00 3 5 1 N

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 2 月 1 日 (2008.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

モニターされる被モニター装置とモニターするモニター装置との間の通信方法において

、
機械的センサーと電気的センサーのいずれか一つを用いて前記被モニター装置のステータスを検知するステップと、

前記検知したステータスに基づいて、インターネット電子メールを生成するステップと

、
前記生成したインターネット電子メールを、前記被モニター装置からインターネットを介して前記モニター装置に送信するステップを

備えることを特徴とする被モニター装置とモニター装置との間の通信方法。

【請求項 2】

前記生成するステップは、暗号化したインターネット電子メールを生成することを特徴とする請求項 1 に記載の被モニター装置とモニター装置との間の通信方法。

【請求項 3】

モニターされる被モニター装置とモニターするモニター装置との間の通信を行う通信システムにおける被モニター装置において、

前記被モニター装置内部のセンサーを用いて検出された前記被モニター装置のステータスに基づいて、インターネット電子メールを生成する生成手段と、

前記生成手段によって生成されたインターネット電子メールを、前記被モニター装置からインターネットを介して前記モニター装置に送信する送信手段と、
を備えることを特徴とする被モニター装置。

【請求項 4】

前記生成手段は、暗号化したインターネット電子メールを生成することを特徴とする請求項 3 に記載の被モニター装置。

【請求項 5】

L A Nインターフェースを有するモニターされる被モニター装置と、モニターするモニター装置との間の通信方法において、

機械的センサーと電氣的センサーのいずれか一つを用いて前記被モニター装置のステータスを検知するステップと、

前記検知したステータスに基づいて、インターネット電子メールを生成するステップと、

前記生成したインターネット電子メールを、前記被モニター装置のL A Nインターフェースによりインターネットを介して、前記モニター装置に送信するステップを備えることを特徴とする被モニター装置とモニター装置との間の通信方法。

【請求項6】

L A Nインターフェースを有するモニターされる被モニター装置と、モニターするモニター装置との間の通信を行う通信システムにおける被モニター装置において、

前記被モニター装置内部のセンサーを用いて検出された前記被モニター装置のステータスに基づいて、インターネット電子メールを生成する生成手段と、

前記生成手段によって生成されたインターネット電子メールを、前記被モニター装置のL A Nインターフェースによりインターネットを介して、前記モニター装置に送信する送信手段と、

を備えることを特徴とする被モニター装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】被モニター装置とモニター装置との間の通信方法および被モニター装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、被モニター装置とモニター装置との間の通信方法および被モニター装置に関し、より詳細には、接続通信モードと無接続通信モードを用いた被モニター装置とモニター装置との間におけるリモート・モニタリング、診断、および制御に関し、さらに具体的には、複写機やプリンタ、そしてファクシミリ装置等のビジネスオフィス機器のモニタリング、制御、および診断に関するものである。また、本発明は被モニター装置の情報を含んでいるデータベースの使用および共用に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記の目的を達成するために、請求項1に係る発明は、モニターされる被モニター装置とモニターするモニター装置との間の通信方法において、機械的センサーと電氣的センサーのいずれか一つを用いて前記被モニター装置のステータスを検知するステップと、前記検知したステータスに基づいて、インターネット電子メールを生成するステップと、前記生成したインターネット電子メールを、前記被モニター装置からインターネットを介して前記モニター装置に送信するステップを備えることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

また、請求項 2 に係る発明は、請求項 1 に記載の被モニター装置とモニター装置との間の通信方法において、前記生成するステップは、暗号化したインターネット電子メールを生成することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

また、請求項 3 に係る発明は、モニターされる被モニター装置とモニターするモニター装置との間の通信を行う通信システムにおける被モニター装置において、前記被モニター装置内部のセンサーを用いて検出された前記被モニター装置のステータスに基づいて、インターネット電子メールを生成する生成手段と、前記生成手段によって生成されたインターネット電子メールを、前記被モニター装置からインターネットを介して前記モニター装置に送信する送信手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

また、請求項 4 に係る発明は、請求項 3 に記載の被モニター装置において、前記生成手段は、暗号化したインターネット電子メールを生成することを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

また、請求項 5 に係る発明は、LAN インターフェースを有するモニターされる被モニター装置と、モニターするモニター装置との間の通信方法において、機械的センサーと電気的センサーのいずれか一つを用いて前記被モニター装置のステータスを検知するステップと、前記検知したステータスに基づいて、インターネット電子メールを生成するステップと、前記生成したインターネット電子メールを、前記被モニター装置の LAN インターフェースによりインターネットを介して、前記モニター装置に送信するステップを備えることを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

また、請求項 6 に係る発明は、LAN インターフェースを有するモニターされる被モニター装置と、モニターするモニター装置との間の通信を行う通信システムにおける被モニター装置において、前記被モニター装置内部のセンサーを用いて検出された前記被モニター装置のステータスに基づいて、インターネット電子メールを生成する生成手段と、前記

生成手段によって生成されたインターネット電子メールを、前記被モニター装置の L A N インターフェースによりインターネットを介して、前記モニター装置に送信する送信手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

本発明によれば、検知したステータスに基づいて、安価なインターネットを用いて情報を送信できる。

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 4
【補正方法】削除
【補正の内容】